

令和元年 11 月 12 日
気象庁地球環境・海洋部

配信資料に関する技術情報第 524 号

～ 波浪に関する全般解説資料の提供について ～

概要

気象庁では、気象庁が発表する波浪に関する情報の補助資料として、「波浪に関する全般解説資料」の提供を開始します。

1 実施日時

令和元年 12 月 17 日（火）13 時 30 分（日本時間）頃に配信する資料から、提供を開始します。

2 気象情報の内容等

波浪の実況の着目点及び今後の見通しを、図を用いて解説した資料です。

3 気象情報の仕様

気象情報の仕様、サンプル等は別紙をご覧ください。

4 障害時やメンテナンス時の対応

システム障害等により、当該気象情報の作成が不可能となった場合、データの再送は行いません。あらかじめご承知おきください。

波浪に関する全般解説資料の概要

(1) 概要

気象情報の名称	波浪に関する全般解説資料
ファイル名	Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_WAV_CHT_JCInamikaisetu_image.pdf ¹
配信時刻 (日本時間)	02 時 30 分頃、08 時 00 分頃、13 時 30 分頃 (1 日 3 回) ²
ファイル形式	PDF(カラー・A4 横)
ファイル容量	約 600KB/回×3回/日=約 2MB/日

(2) 資料の内容

波浪の実況の着目点及び今後の見通しを、図を用いて解説します。

(3) 資料の構成

<ヘッダー>

- ・ 資料名と、資料の発表時刻(年月日)を示します。

<資料上段>

図上の大きい青の矢印は風浪を、茶色の矢印はうねりを示します。矢印の向きは風浪あるいはうねりの向きを示します。また、図中の黒い小さな矢印は、沿岸波浪モデルによる平均波向です。

- ・ 資料発表日当日の波浪の実況(左図)
 - 図は、初期値時刻から 3 時間後の波浪の予想図に、実況の時刻に解析された顕著な風浪・うねりの矢印を記入した波浪の実況図です。特に注目する波浪には、矢印に白地に黒の数字(①②③・・・)の吹き出しを付け、資料下段の実況の着目点で解説します。
- ・ 資料発表日翌日の波浪の予想(中央図)
 - 図は、沿岸波浪モデルの予測値から作図した、資料発表日翌日 09 時(日本時

¹ ZとCの間にはアンダースコアが2個、その他はアンダースコアが1個入ります。

yyyyMMddhhmmss は資料の発表時刻の年月日時分秒を UTC(協定世界時)で設定します。

² 資料の発表時刻(資料ヘッダーに表示される発表時刻)は、それぞれ 02 時 30 分、08 時 00 分、13 時 30 分(日本時間)となります。

間)の波浪の予想図です。

➤ 特に注目する波浪には、矢印に黒地に白抜き数字(①②③…)の吹き出しを付け、資料下段の今後の見通しで解説します。

・ 資料発表日翌々日の波浪の予想(右図)

➤ 図は、沿岸波浪モデルの予測値から作図した資料発表日翌々日 09 時(日本時間)の波浪の予想図です。

➤ 特に注目する波浪には、矢印に黒地に白抜き数字(①②③…)の吹き出しを付け、資料下段の今後の見通しで解説します。

<資料下段>

日本周辺海域の波浪の概況を解説します。

・ 実況の着目点(左列)

➤ 波浪の実況図で吹き出し表示された①②③…について、実況の波高と沿岸波浪モデル予測値とのあいだに明瞭な差がある場合には、その差(メートル)を解説します。

・ 今後の見通し(右列)

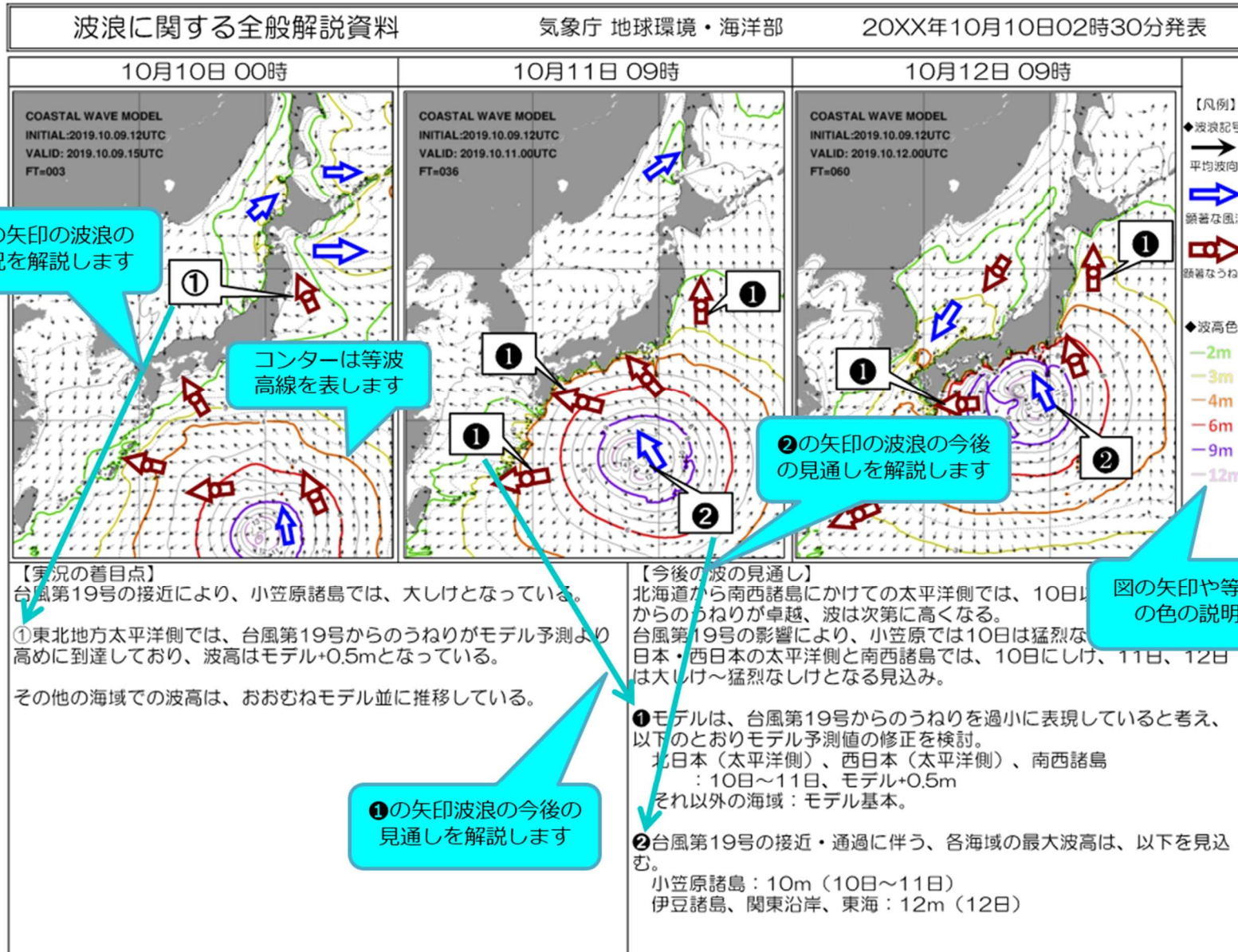
➤ 波浪の予想図で吹き出し表示された①②③…について、波浪モデルの予測が過大又は過小の可能性があるなど、波浪モデル予測値の修正の検討が必要と考えられる場合には、波浪モデル予測値からの修正量(メートル)を解説します。この情報を踏まえ、利用者側で検討をお願いします。

(4) 留意事項

・ 本解説資料は、気象事業者等が、気象庁の波浪に関する予報の根拠を理解するための補助資料です。そのままの形で一般に提供することを想定したものではありません。

・ 資料の訂正がある場合は、資料中に訂正箇所を明記したうえで再配信します。ファイル名は訂正前のものと同じです。

波浪に関する全般解説資料のサンプル



※この資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する波浪に関する予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

